

Godox

# AD300Pro

アウトドアフラッシュ



深圳市神牛摄影器材有限公司  
GODOX Photo Equipment Co., Ltd.

所在地/Add: 深セン市宝安区福海街道塘尾社区耀川工业区厂房2棟  
Building 2, Yaochuan Industrial Zone, Tangwei Community, Fuhai Street, Bao'an District, Shenzhen, China  
電話 /Tel: +86-755-29609320(8062) ファックス /Fax: +86-755-25723423  
電子メール/E-mail: [godox@godox.com](mailto:godox@godox.com) <http://www.godox.com>  
705-AD30P0-03 Made In China



取扱説明書

## はじめに

安全に本製品を使用することを確保するため、予め本取扱説明書をよく読んでください。  
必要な時にすぐに取り出せるように大切に保管してください。

**この度は神牛の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。**

ポケットフラッシュAD300Proはパワーが強く、本体がコンパクトで、携帯に便利です。大容量リチウムバッテリーは本体に内蔵され、異なるバヨネットを交換して各種ライティングエフェクトアクセサリを取り付けることができます。各ブランドカメラのTTLに全面的に対応できます。本製品は持ち運び利便性と高効率光質を兼ね備えており、フリーランスカメラマン、新聞記者、カメラマニア、撮影愛好家、ウェディングカメラマンなどにとって、理想的な光源です。

**本製品は下記のメリットがあります。**

**ワイヤレスTTLシステム完全互換：**内蔵神牛2.4GワイヤレスXシステムを採用しており、Canon、Nikon、Sony、Fuji、Olympus、PanasonicとPentaxカメラのTTL/M/Multiなどの機能に対応できます。ワイヤレス多灯発光システムのスレーブユニットとすることができ、撮影は簡単で便利です。

**パワー強く、小型で便利：**フラッシュパワーは300Wに達しており。

**高品質VAディスプレイ：**表示は直感であり、操作はより手軽です。

**内蔵2.4Gワイヤレス伝送：**100m超長距離で、クリエイティブは無限です。

**専門光源：**国際ブランド電池使用、大容量電源ボックス(14.4V/2600mAh)、0.01-1.5sリサイクル、320回以上フル発光。

**ワイヤレスコントロール：**神牛2.4GワイヤレスXシステムを内蔵しており、TTLコントロールを実現できます。外付けの場合、神牛FT-16リモコンを使用でき、フラッシュのパワーなどをワイヤレスでコントロールし、また、シンクロにフラッシュをトリガーできます。同時に、3.5mmシンクロソケットがあり、複数シンクロトリガー方式を実現できます。

**精確な調光：**パワー調整範囲が大きく（1/1-1/256）、81レベルで精確に微調整でき、光効率をより手軽に把握できます。


**色温度コンスタント：**フルレベル変動±100K範囲以内（色温度コンスタントモード）。

**高級機能：**1/8000秒ハイスピードシンクロ、ハイスピードストロボ、ハイスピードリモコンシンクロトリガーなどをサポートします。

## 警告

- ▲ 乾燥を保ってください。
- ▲ 自分勝手に本製品を分解しないでください。製品に故障が出た場合、本社または授權された専門業者よりチェックし、メンテナンスします。
- ▲ 子供に本製品を触れさせないでください。
- ▲ 分解したり、ショックしたり、押ししたり、火の中に投げたりしてはいけません。厳しく膨らむと、引き続き使用しないでください。50℃を超えた高温環境で置かないでください。
- ▲ フラッシュを人の目（特に赤ちゃんの目）に当てて発光しないでください。そうしないと、短期間に視力障害を起こす恐れがあります。
- ▲ 化学品、可燃性ガスまたは他の特殊物質の近くでフラッシュを使わないでください。これらの物質は特殊な状況でフラッシュに対し瞬間的な強光過敏を起こし、火災または電磁干渉をもたらす恐れがあります。このような場合、関係警告マークを参照してください。
- ▲ 本製品は防水できないため、雨天または湿っぽい環境で防水に注意してください。
- ▲ いかなる故障が起こった場合、直ちにフラッシュの電源をOFFにしてください。

# 目次

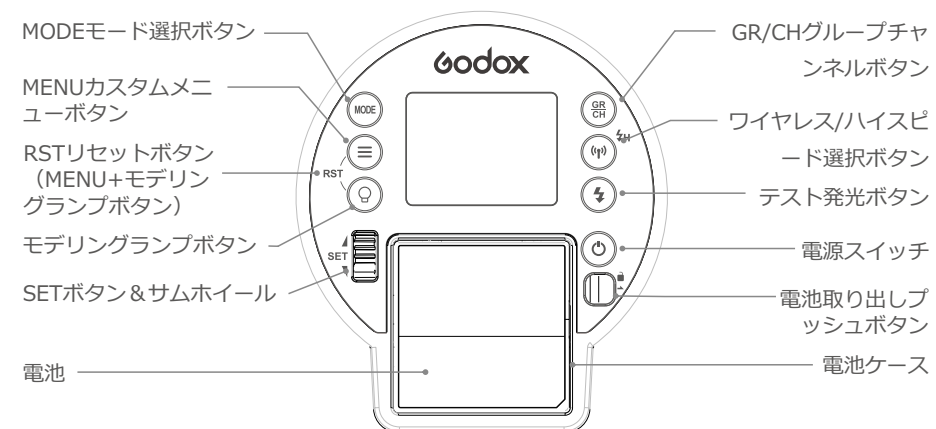
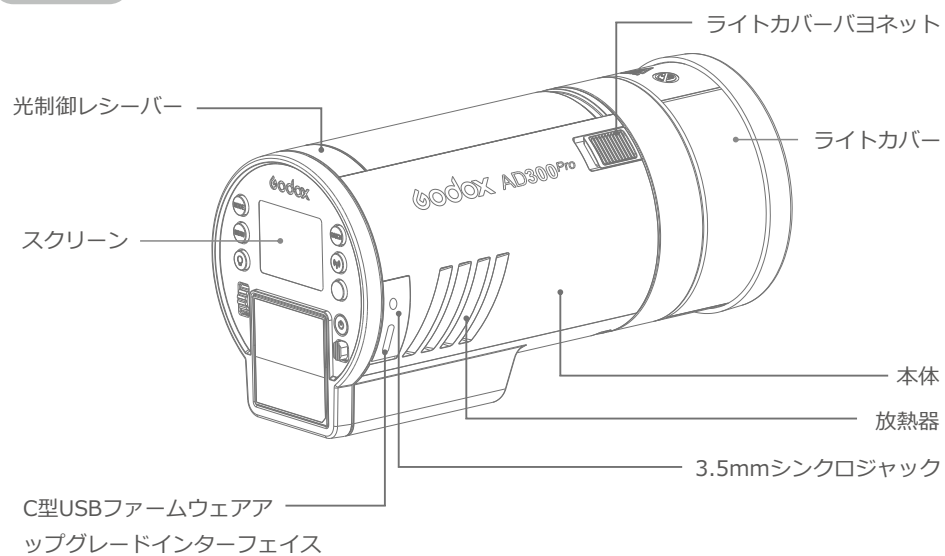
|    |  |
|----|--|
| 01 | はじめに   |
| 02 | 警告   |
| 05 | 部品名称   |
|    | 本体   |
|    | VAディスプレイ   |
|    | 付属品  |
|    | 別売オプション品   |
|    | 他のマウントチャックの交換とアクセサリの装着   |
|    | フラッシュチューブの着脱   |
| 10 | 電池   |
| 10 | 電源管理   |
| 11 | モデリングランプ   |
| 11 | ワイヤレスモードの選択  |
| 12 | 発光モード--TTL自動発光モード  |
|    | TTLモード   |
|    |  ハイスピードシンクロ |
| 12 | 発光モード--M：手動発光  |
| 14 | 発光モード--Multi：ストロボ発光  |
| 15 | ワイヤレスフラッシュ撮影：ワイヤレス（2.4G）伝送   |
| 17 | C.Fn：カスタム機能の設定   |
| 18 | 他の応用   |
|    | ズーム機能  |
|    | シンクロソケットトリガー   |
| 18 | 保護機能   |
| 19 | 仕様   |
| 20 | ファームウェアアップグレード   |
| 20 | メンテナンスと保守  |

## 本取扱説明書の中で使われている約定

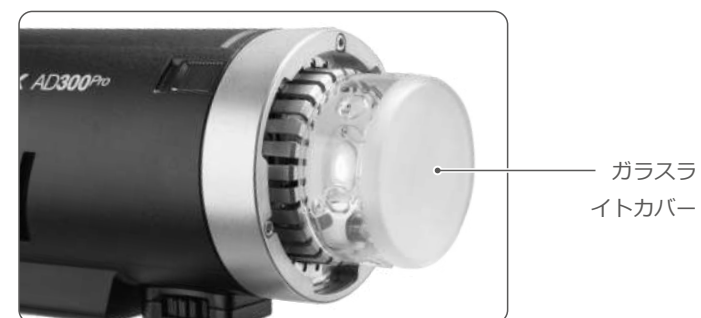
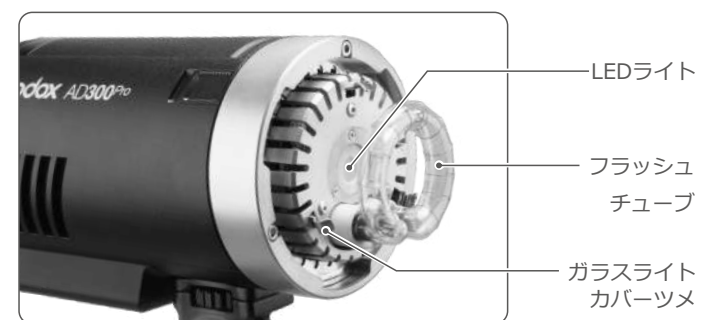
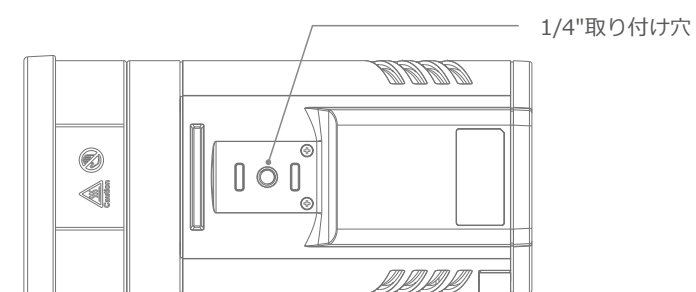
- 本取扱説明書に記載された操作ステップはカメラとフラッシュの電源スイッチがONにされているとします。
- ページ参照は（\*\*ページ目）の形式で表示されます。
- 本取扱説明書は下記の警告マークを使います。
  - ▲ この「留意」マークは撮影問題を避けるための警告です。
  - ⚠ この「注意」マークは補充情報を提供する意味を表します。

## 部品名称

### 本体 :



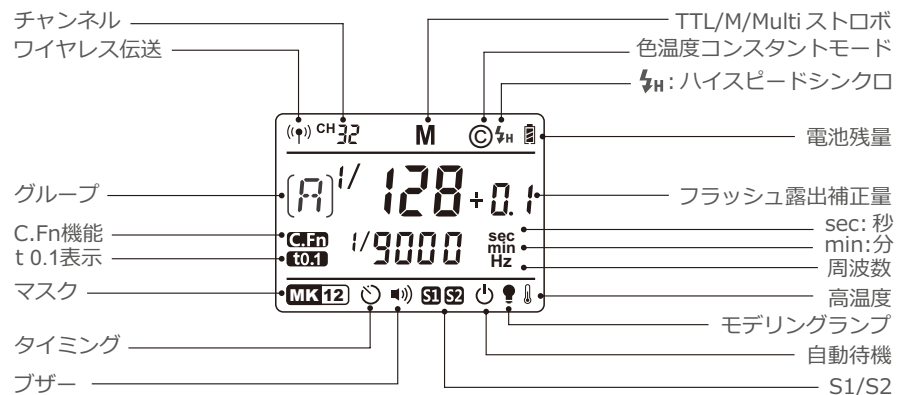
## 部品名称



## 部品名称

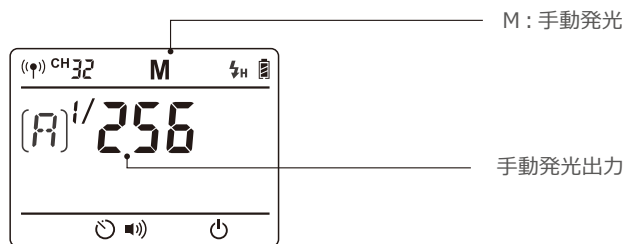
### VAディスプレイ

#### (1) ディスプレイ

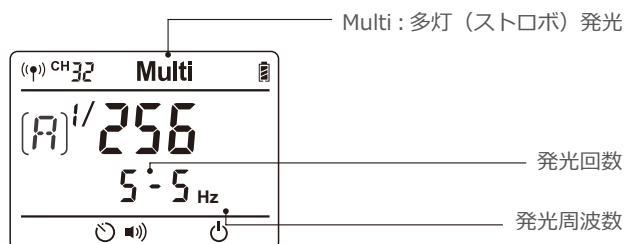


- ディスプレイはカレント応用の設定のみを表示します。
- ボタンまたはダイヤルを操作する時に、液晶ディスプレイは点灯します。

#### (2) M手動発光

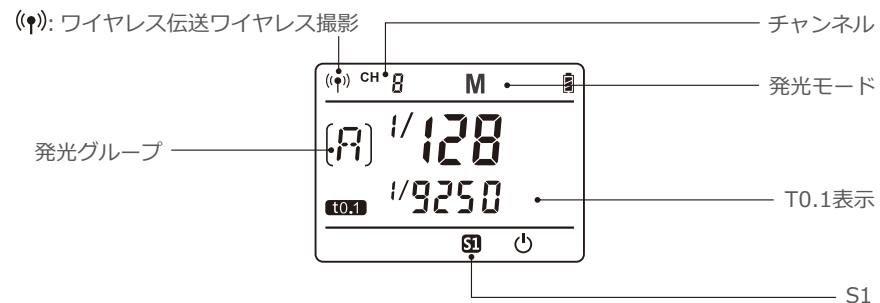


#### (3) Multiストロボ発光

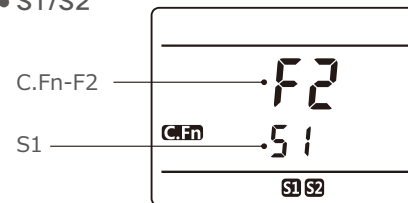


## 部品名称

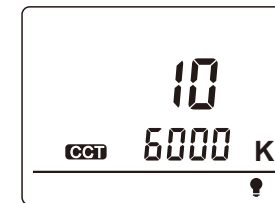
### (4) ワイヤレス伝送撮影



#### ● S1/S2



#### ● CCT



### 付属品

1. 本体
2. フラッシュチューブ
3. ガラスライトカバー
4. リフレクター
5. AD-E2ホルダー
6. 電池
7. 充電器
8. 持ち運びバッグ
9. 取扱説明書



### 別売オプション品

当社の以下の撮影アクセサリと組み合わせて、最高の撮影効果と使用体験を得ることができます。  
XPro、X2、X1シリーズトランスミッター、チャックコネクティングベース、ポーエンス/エリンク  
ルーム/高明マウントチャック、ソフトボックス、レーダーカバー、折りたたみアンブレラ、スナ  
ート、ライトホルダーなど。



## 部品名称

### 他のマウントチャックの交換とアクセサリの装着



1 ライトカバーの固定スライドボタンをスライドして、リフレクターまたは他のアクセサリを取り外します。



2 固定溝を探して、まず、チャックコネクティングベースの半分をはめ込み、それから、他の半分をしっかりと装着し、完全なリングを形成します。



3 ボーエンスチャックまたは他のマウントチャックをコネクティングベースに合わせてはめ込みます。



4 取り外された2本のネジとマウントの付属した2本のネジでチャックを固定します。



5 ボーエンスアクセサリまたは他の相応するチャックのアクセサリをアクセサリのマウントに差し込みます。

### フラッシュチューブの着脱

#### フラッシュチューブの装着



1 ライトカバーの固定スライドボタンをスライドして、リフレクターまたは他のアクセサリを取り外します。



2 フラッシュチューブの三つのピンをフラッシュコンセントの三つの穴に合わせて、フラッシュを差し込みます。



3 まず、ガラスライトカバーのクラスプメタルドーム1を係合し、それから、同時にクラスプメタルドームを係合して、下へ押さえ、ガラスライトカバーを閉じます。

#### フラッシュチューブの離脱



1 まず、ガラスライトカバーをクラスプメタルドーム2、3から抜き出し、それから、ゆっくりとクラスプメタルドーム1から抜き出します。



2 親指はフラッシュチューブから通し、親指と人差し指の側面でフラッシュチューブベースを握り、力を入れて上へフラッシュチューブを抜き出します。

## 電池

### 特徴

1. 本製品は国際有名ブランドリチウム電池を使っており、500回の充放電サイクルをサポートし、耐用期間が長いです。
2. 安全で信頼性が高く、内蔵回路は過充電保護、過放電保護、過電流保護、短絡保護を有しています。
3. 付属している電池充電器を使う場合、4時間ぐらいで満充電になります。

### 注意事項

1. 極性反転と短絡を避けてください。
2. 電池は防水機能を有していないため、電池を霧または水の中に浸さないでください。
3. 子供の手に届かないところに置いてください。
4. 充電する場合、電池を24時間以上放置しないでください。
5. 電池を涼しくて乾燥と通気の良いところに保管してください。
6. 電池を火の近くまたは火の中に置かないでください。
7. 電池を廃棄する時に地元のルールに従って処理してください。
8. 長期間にわたって使わなかった場合、60%まで充電してから放置してください。
9. 3ヶ月以上電池を使わなかった場合、電池を充電してください。

### 電池残量指示

リチウム電池を正しくフラッシュに取り付けると、フラッシュに給電できます。使用時に、フラッシュのディスプレイにある電池アイコンをチェックするだけで電池残量を把握できます。

| Vaディスプレイ残量 | 意味   |
|------------|--|
| 符号表示       |  |
| 3グリッド      | 電池残量はまだ十分あります  |
| 2グリッド      | 電池容量は減り始めました。  |
| 1グリッド      | 電池残量は低くなりました。  |
| フレーム       | 残量が僅かで、直ちに充電してください。  |
| 点滅         | 電池容量がすぐ切れます、この状態でフラッシュの操作をサポートせず、1分間後に自動的にシャットダウンします。注：この状態になると、直ちに（10日以内）充電してから、使用したり、放置したりすることができます。 |

## 電源管理

電源スイッチは本製品の起動とシャットダウンを制御します。長時間にわたって使わない場合、電源を切ってください。本製品は電源自動待機機能を有しています。長期間（30/60/90分）で操作しなかった場合、フラッシュは自動的に待機します。

- C.Fn** オフカメラ使用時に、カスタム機能を通じて「自動待機」機能をディスプレイにさせることをおすすめします（C.Fn-F3 17ページ目）。

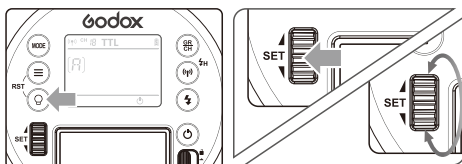
## モデリングランプ

1. **モデリングランプのオン・オフ**：< Q > ボタンを短押しして、LEDライトのオン・オフを制御できます。

2. **モデリングランプの設定**：< Q > を長押しすると、モデリングランプ設定画面に入ります。

2.1. 輝度の設定：SETボタンを押して、輝度値が点滅している時、SETダイヤルホイールを回して輝度値を設定できます。輝度レベルは10級(1-10)です。

2.2. 色温度の設定：SETボタンを押して、色温度値が点滅している時、SETダイヤルホイールを回して色温度値を設定できます。色温度の調整範囲は3000K-6000Kで、色温度差は±500Kです。



## ワイヤレスモードの選択

AD300Proはスレーブユニット（レシーバ側）のみに利用されます。ワイヤレスボタンを2秒長押しする、ワイヤレス機能を切り替えることができます。

| ワイヤレスモード | 発光モード       |
|----------|-------------|
| OFF      | M/Multi     |
| ワイヤレス    | TTL/M/Multi |

## 発光モード--TTL自動発光モード

このフラッシュはTTL自動発光、M手動発光とMultiストロボ発光という三つのモードを有しています。TTLモードで、カメラの測光システムは被写体から反射して返ってきた発光照明を計測し、自動に発光出力を調整し、被写体と背景を均一に露出させます。

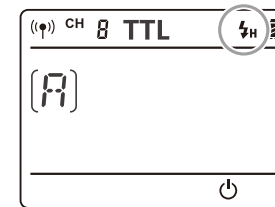
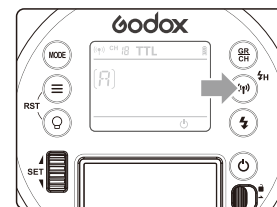
< **MODE** > モード選択ボタンを押すと、三つの発光モードは順次に液晶ディスプレイに表示されます。

TTLモード

< **MODE** > モード選択ボタンを押して、フラッシュを<TTL>に設定することによって、フラッシュをTTLモードに入らせます。

### 📷 ハイスピードシンクロ

ハイスピードシンクロ（FP発光）を使うと、あらゆるシャッター速度でシンクロでフラッシュを使うことができます。ハイスピードシンクロ発光は絞り優先を使って人物に対し充填発光を行なう時に特別に便利です。



1 ワイヤレスボタン< W >を2秒長押しして、スクリーンに< H >アイコンを表示させます。

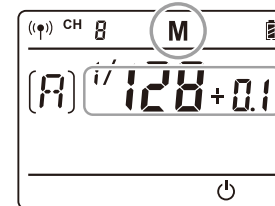
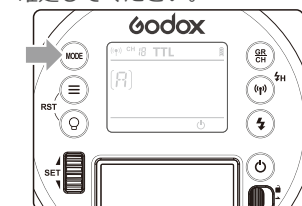
2 トランスミッターはX2シリーズトランスミッターを使ってください。

- ハイスピードシンクロを使う場合、シャッター速度は高いほど、有効発光範囲は小さくなります。
- ハイスピードシンクロモードで、ストロボ発光を設定できません。
- 引き続きハイスピードシンクロ発光を20回行なった後、フラッシュの熱保護機能はイネーブルにされる可能性があります。

## 発光モード--M：手動発光

1/256パワー～1/1フルパワーの間で1/10段をステップとして発光出力を設定できます。

正しいフラッシュ露出を獲得するため、手持ちのフラッシュ測光表を使って必要とする発光出力を確定してください。



1 < **MODE** > モード選択ボタンを押して、ディスプレイに< M >を表示させます。

2 ダイヤルホイールを回すかSETボタンを押すと同時にダイヤルホイールを回してフラッシュ出力を設定できます。ダイヤルホイールを直接回すと、1/10段を刻みに増え、SETボタンを押すと同時にダイヤルホイールを回すと、1段を刻みに増えます。



## 発光モード—M:手動発光

### S1光制御ユニットの設定

M手動発光モードで、MENUボタンを押して、C.Fn-F2に入り、S1機能を選択すると、フラッシュはサブフラッシュとして使うことができ、複数の照明効果を創り出すことができ、手動発光環境に適用されます。これはメインフラッシュの第1回発光と同調して発光をトリガーし、その効果はワイヤレスフラッシュトリガーを使うことと一致します。

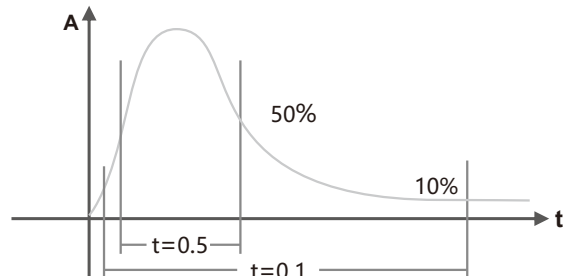
### S2光制御ユニットの設定

M手動発光モードで、MENUボタンを押して、C.Fn-F2に入り、S2機能を選択すると、フラッシュはサブフラッシュとして使うことができ、TTL発光環境に適用します。予備発光機能を持ち、1回予備発光機能付きのカメラを使う時に光制御によってシンクロ撮影を実現できます。これはメインフラッシュの第2回発光と同調して発光をトリガーし、即ち、2回光制御トリガーです。

● MモードのみでS1/S2光制御トリガーモードをサポートします。

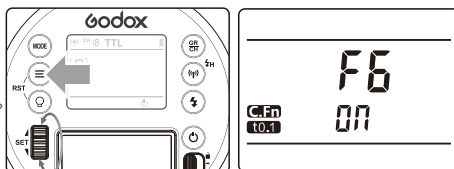
### 発光持続時間の表示

発光持続時間はフラッシュが発光開始から発光半値幅に達するまでの時間長さを指します。半値幅の表示は  $t = 0.5$  です。カメラマンにより詳しい撮影数値を提供するため、本製品は  $t = 0.1$  を採用しています。  $t = 0.5$  と  $t = 0.1$  の区別は下記の図に示す通りです。



### 発光持続時間表示の操作：

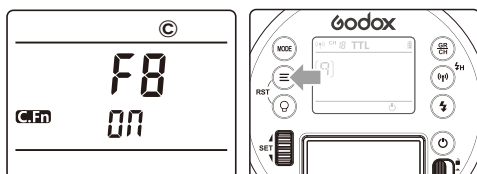
1. MENUボタンを押してC.FN機能に入ります。
2. 調整つまみをF6に回し、この時、  $t = 0.1$  アイコンが表示されます。
3. <SET> 設定ボタンを押して調整状態に入ります。
4. 調整つまみを回して選択します。  
On：発光持続時間を表示します。  
OFF：発光持続時間を表示しません。



● Mモードのみで持続時間を表示します。

### 色温度コンスタント

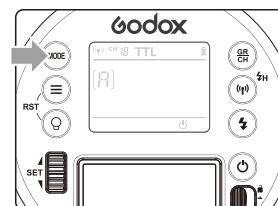
この機能を使う場合、フルレベル色温度変動は  $\pm 100K$  ぐらいです。MENU C.Fn-F8に入り、ONに設定すると、色温度コンスタントがスタートします。Mモードでパワー値を大きい方から小さい方へ調整する場合、トリガーボタンインジケータは点滅します。(ブザーが1分間鳴きます。) この時に、トリガーボタンを押して放電した後、正常に使用できます。



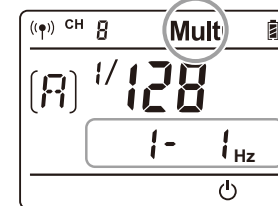
● M非ハイスピードモードのみで、色温度コンスタントをサポートします。

## 発光モード--Multi : ストロボ発光

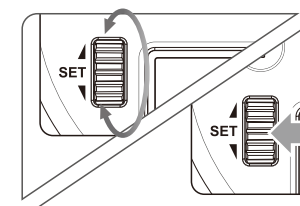
ストロボ発光を使用して、快速なシリーズ発光を出すことができます。このモードで1枚写真の上で移動被写体の複数画像を撮影できます。この機能を持って、発光周波数(秒毎の発光回数、Hzで表示されます)、発光回数と発光出力を設定できます。



1 <MODE> 発光モード選択ボタンを押すと、ディスプレイに<MULTI>を表示させます。



2 調整つまみを回して発光出力を設定します。



3 発光周波数と発光回数を設定します。

- <SET> ボタンを押して発光周波数を選択し、調整つまみを回して数値を設定します。
- <SET> ボタンを押して発光回数を選択し、調整つまみを回して数値を設定します。
- <SET> 設定ボタンを押して確認すると、あらゆる設定はいずれも表示されます。

### シャッター速度の計算

ストロボ発光過程において、発光停止までシャッターは起動状態を保持すべきです。下記の計算式によってシャッター速度を計算してから、カメラで設定します。

$$\text{発光回数/発光周波数} = \text{シャッター速度}$$

例えば、発光回数は10であり、発光周波数は5Hzであるとすると、シャッター速度は少なくとも2秒になります。

▲ フラッシュヘッドの過熱と損傷を防ぐため、引き続き10回以上のストロボ発光連続撮影を行なわないでください。発光10回後、フラッシュを少なくとも15分冷却させてください。引き続き10回以上のストロボ発光連続撮影を行なってみたい場合、フラッシュヘッドの過熱を防ぐため、発光は自動的に停止することがあります。このような場合、フラッシュを少なくとも15分冷却させます。

- 反射の強い被写体の場合、暗い背景の前でストロボ発光を使うとより効果的です。
- 三脚とリモコンスイッチをおすすめします。
- 発光出力は1/1と1/2である場合、ストロボ発光を設定できません。
- ストロボ発光時でも「buLb」を使うことができます。
- 発光回数は--に表示された場合、シャッターシャットダウンまたは電池切れまでフラッシュは引き続き発光します。  
下記の表に示すように、発光回数は制限されます。

### 最大ストロボ発光回数

| 発光出力           | Hz | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6-7 | 8-9 | 10 | 11 | 12-14 | 15-19 | 20-50 | 60-99 |
|----------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|-------|-------|-------|-------|
| 1/4            |    | 7  | 6  | 5  | 4  | 4  | 3   | 3   | 2  | 2  | 2     | 2     | 2     | 2     |
| 1/8            |    | 14 | 14 | 12 | 10 | 8  | 6   | 5   | 4  | 4  | 4     | 4     | 4     | 4     |
| 1/16           |    | 30 | 30 | 30 | 20 | 20 | 20  | 10  | 8  | 8  | 8     | 8     | 8     | 8     |
| 1/32           |    | 60 | 60 | 60 | 50 | 50 | 40  | 30  | 20 | 20 | 20    | 18    | 16    | 12    |
| 1/64           |    | 90 | 90 | 90 | 80 | 80 | 70  | 60  | 50 | 40 | 40    | 35    | 30    | 20    |
| 1/128<br>1/256 |    | 90 | 90 | 90 | 90 | 90 | 90  | 80  | 70 | 70 | 60    | 50    | 40    | 40    |

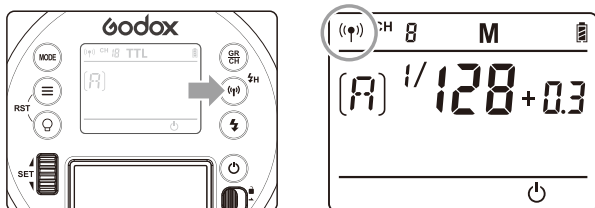


## ワイヤレスフラッシュ撮影：ワイヤレス（2.4G）伝送

AD300Proは神牛2.4GワイヤレスXシステムを使っており、弊社の他のタイプと完璧に組合わせて使うことができます。  
スレーブユニットとしてCanon、Nikon、Sony TTLシステムに対応でき、マスターユニットに従って自動に切り替わり、手動で設定する必要がありません。Nikonカメラ（X1T-N使用）、Canonカメラ（X1T-C使用）とSonyカメラ（X1T-Sなど使用）は同時同所で1台または複数台のAD300Pro-TTLをシェアすることができ、順調に組み合わせ、何の問題もありません。

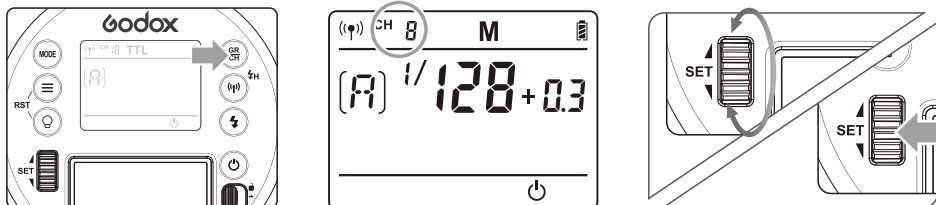
### 1、ワイヤレス設定

<(P)>ワイヤレスボタンを2秒長押しすると、ワイヤレス機能のスイッチを切り替えることができます。ワイヤレス機能を起動した時に、ディスプレイに<(P)>を表示します。弊社のFT-16と他のブランドのフラッシュトリガーを使う時に、ワイヤレス機能をシャットダウンしてください。



### 2、通信チャンネルの設定

撮影現場で一つ以上のワイヤレスフラッシュシステムがある場合、通信チャンネルの変更を通じて信号の干渉を防ぐことができます。マスターユニットとスレーブユニットは同じチャンネル番号に設定されたことを確保するだけで良いです。



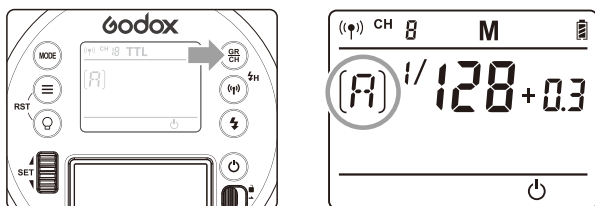
1 <GR/CH> ボタンを2秒長押しすると、チャンネルは点滅に表示されます。

2 調整つまみを回して1~32の中からチャンネルを選択します。

3 <SET> 設定ボタンを押して確認します。

### 3、通信グループの設定

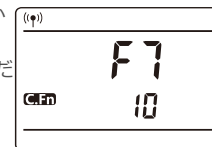
<GR/CH> ボタンを短押しすると、A~Eグループは順次に変化します。



## ワイヤレスフラッシュ撮影：ワイヤレス（2.4G）伝送

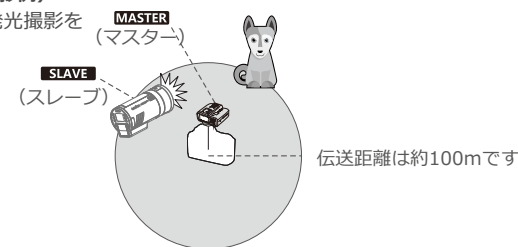
### 4、ID番号の設定

MENUボタンを押してC.Fn-F7に入り、OFF/01-99からいずれかの数字を選択できます。  
(注：マスターユニットはこの機能を搭載している時だけに、はじめて使用できます。)



### 配置と操作範囲（ワイヤレスフラッシュ撮影例）

● 一つのスレーブユニットを使って自動発光撮影を行いません。

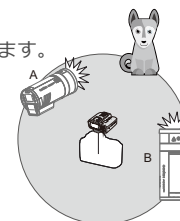


- 付属のホルダーによってスレーブユニットを固定します。
- 撮影前にテスト発光とテスト撮影を行なってください。
- スレーブユニットの位置、周辺環境、天気状況などの影響によって、伝送距離はより短くなる場合があります。
- ワイヤレス信号の干渉が非常に多いです。ミスフラッシュがあった場合、チャンネルを変更して干渉を避けてください。

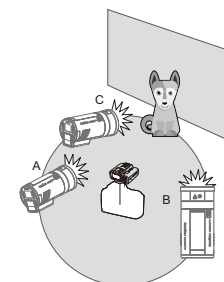
### ワイヤレス多灯発光撮影

スレーブユニットを二つまたは三つのグループに分け、光量比（倍率）を変更すると同時に、TTL自動発光撮影を行なうことができます。また、各フラッシュグループ（五つのグループまで）に異なる発光モードを設定して撮影できます。

● 二つのスレーブグループによって自動発光撮影を行いません。



● 三つのスレーブグループによって自動発光撮影を行いません。



- AD300Proと神牛X2シリーズトランスミッターと一緒に使われる時に、フラッシュの下記機能はX2を通じてコントロールできます。
- 発光モード：TTL、M、Multi
- シンクロトリガー：前幕、後幕、ハイスピードシンクロ
- パワー大きさの調整・コントロール
- モデリングランプスイッチ
- プゼースイッチ

### ⚠ 神牛2.4Gワイヤレスミスフラッシュの原因及び対策：

- 1. 外部環境2.4G信号干渉（例えばワイヤレス基地局、2.4G wifiルーター、Bluetoothデバイスなど）**  
→フラッシュトリガーのチャンネル設定（+10おススメします）を調整してください。干渉のないチャンネルを探しますか、作業中において他の2.4Gデバイスをシャットダウンします。
- 2. フラッシュはすでにリサイクルしましたか、リサイクル速度は連続撮影速度に間に合いますか（フラッシュは準備しており、インジケータはすでに点灯しています）、また、過熱保護または他の異常状態に入っていないことを確認します。**  
→フラッシュのパワー段階を下げてください。TTLモードである場合、Mモードに変更してください（TTLモードで1回予備発光が必要です）。
- 3. フラッシュトリガーとフラッシュの距離は近過ぎますか（距離は0.5m以下です）**  
→フラッシュトリガーで「近距離ワイヤレス撮影」を起動してください。  
X1シリーズ：トリガーボタンを押したまま、起動し、インジケータが2回点滅することを待ちます。  
XProシリーズ：C.Fn-DISTを0-30mに設定します。
- 4. フラッシュトリガーとレシーバデバイスは低残量状態にあるかを確認します。**  
→電池を交換してください（フラッシュトリガーの電池は1.5V使い捨て型アルカリ性電池をしてください）。

## C.Fn：カスタム機能の設定

下記の表にある本製品応用欄を参照して、カスタム機能を使って設定してください。

| カスタム機能符号 | 機能           | 設定符号          | 設定と説明   | 使用範囲制限      |
|----------|--------------|---------------|---|-------------|
| F1       | プザー          | ON            | 起動  | 無し          |
|          |              | OFF           | シャットダウン                                       |             |
| F2       | S1/S2モードの選択  | OFF           | シャットダウン                                       | Mモード        |
|          |              | S1            | S1モード   |             |
|          |              | S2            | S2モード   |             |
| F3       | 自動待機         | OFF           | シャットダウン                                       | 無し          |
|          |              | 30 min        | 何の操作もないと、                                     |             |
|          |              | 60 min        | 自動に待機します。                                     |             |
|          |              | 90 min        |   |             |
| F4       | 遅延発光         | OFF, 0.01~30s | 後幕トリガーとすることができます                              | M/Multiモード  |
| F5       | マスク          | OFF           | マスク機能シャットダウン                                  | Mモード        |
|          |              | N1            | マスク機能起動：2回トリガーすることは一つのサイクルです。第1回トリガーの時に発光します。 |             |
|          |              | N2            | マスク機能起動：2回トリガーすることは一つのサイクルです。第2回トリガーの時に発光します。 |             |
| F6       | t0.1表示       | ON            | 表示  | Mモード        |
|          |              | OFF           | 表示しません  |             |
| F7       | ID設定         | OFF           | オフ  | ワイヤレスモード    |
|          |              | 01~99         | 01~99からいずれかの数字を選択できます                         |             |
| F8       | 色温度コンスタントモード | OFF           | オフ  | M非ハイスピードモード |
|          |              | ON            | オン  |             |

1. <MENU> ボタンを押して、C.Fnメニューに入ります。
2. カスタム機能符号の選択  
調整つまみを回してカスタム機能符号を設定します。
3. 設定の変更
  - <SET> 設定ボタンを押すと、カスタム機能番号は点滅します。
  - 調整つまみを回して欲しい番号を設定します。<SET> ボタンを押して確認します。
4. C.Fnメニューの退出
  - <MENU> ボタンを押して退出します。

## 他の応用

### ズーム機能

別途にS2チャックを購入すると、ズーム機能を実現できます。  
ライトをS2チャックに置くと、前後で移動して、ズーム機能を実現でき、集光と拡散の効果を起こします。



### シンクロソケットトリガー

シンクロソケットの規格はΦ3.5mmであり、ここにシンクロケーブルまたはトリガープラグを差込み、フラッシュに対しシンクロトリガーを行なうことができます。

## 保護機能

### 1. 熱保護

- フラッシュの過熱損傷を避けるため、複数回発光すると、内部の過熱保護機能が活性化され、熱保護が起動すると、スクリーンに「🔥」と表示されます。
- 熱保護時のリサイクル時間が10秒以上になった場合、フラッシュを10分間冷却すると、フラッシュが正常に回復します。

### 2. 他の保護

- デバイスの安全を保証するため、システムは常に予防保護を行なっています。参照として下記に提示符号を提供します。

| LCD表示 | 警告内容   |
|-------|--|
| E1    | フラッシュのリサイクルシステムに故障があります。リサイクルトリガーを行なうことができない場合、再起動してください。再起動しても役立たない場合、メンテナンスしてください。 |
| E2    | デバイスの内部温度が高過ぎて、トリガーを10分間中止してください。  |
| E3    | フラッシュチューブの両端に電圧が高過ぎて、メンテナンスしてください。   |
| E9    | ファームウェアアップグレードに誤りがあります。正しくファームウェアをアップグレードしてください。                                     |

## 仕様

|                          |  |              |
|--------------------------|--|--------------|
| <b>タイプ</b>               | <b>AD300Pro</b>  |              |
| ワイヤレススレーブユニットモード         | *ワイヤレスモード (対応Nikon&Canon&Sony&Olympus&Panasonic&Fujifilm&Pentax) |              |
| 発光モード                    | ワイヤレスシャットダウン   | M/Multi      |
|                          | ワイヤレススレーブモード   | TTL/ M/Multi |
| ワイヤレススレーブユニット対応カメラ       | Nikonカメラ(マスターユニットX1T-N)  |              |
|                          | Canon EOSカメラ(マスターユニットX1T-C)                                      |              |
|                          | Sonyカメラ(マスターユニットX1T-S)   |              |
|                          | Fujifilmカメラ(マスターユニットX1T-F)                                       |              |
|                          | Olympusカメラ(マスターユニットX1T-O)  |              |
| 発光持続時間t0.1(約)            | 1/220秒~1/10200秒  |              |
| POWER                    | 300Ws  |              |
| 段階                       | 9段 : 1/256~1/1   |              |
| ストロボ発光                   | あり(回数 : 90回 ; 周波数 : 99)  |              |
| フラッシュ露出補正(FEC)           | 使われている2.4Gリモコンで調整します。  |              |
| シンクロ方式                   | ハイスピードシンクロ(最高1/8000秒)、前幕シンクロ、後幕シンクロ                              |              |
| 遅延トリガー                   | 0.01~30秒   |              |
| マスク                      | √  |              |
| ブザー                      | √  |              |
| Modelモデリングランプ(LED)       | 12W : 色温3000-6000K±500K/亮度1-10                                   |              |
| 光制御トリガー                  | S1/S2  |              |
| 発光持続時間の表示                | √  |              |
| ●ワイヤレスフラッシュ(ワイヤレス2.4G伝送) |  |              |
| ワイヤレス機能                  | スレーブユニット、シャットダウン   |              |
| 制御可能スレーブユニットグループ         | 5グループ : A, B, C, D, E  |              |
| 伝送距離                     | 100m   |              |
| チャンネル                    | 1~32   |              |
| ID                       | 01~99  |              |
| ●電源                      |  |              |
| 電源                       | リチウム電池 : 14.4V/2600mAh   |              |
| フルパワー発光回数                | 320回   |              |
| リサイクル時間                  | 約0.01-1.5秒   |              |
| 電池残量指示                   | √  |              |
| 節電                       | フラッシュは30分(調整可能)において何の操作もしなかった場合、自動に待機状態に入ります。                    |              |
| ●シンクロトリガー方式              | 3.5mmシンクロケーブル、ワイヤレスコントロールソケット                                    |              |
| ●色温度                     | 5600±200k  |              |
| 色温度コンスタントモード             | フルレベル変動±100K   |              |
| ●サイズ                     |  |              |
| 体積                       | 190x100x90mm   |              |
| 正味重量                     | 1.25Kg(含電池)  |              |

## ファームウェアアップグレード

本製品はUSBポートを通じてファームウェアアップグレードを行なうことができます。ソフトウェアの最新情報及びその説明は公式サイトをご参照ください。

- 本製品のUSBポートはType-Cポートで、Type-C USBケーブルを使ってください。
- 本製品のファームウェアをアップグレードする時に、Godox G3プログラムソフトウェアのサポートが必要です。ファームウェアをアップグレードする前に、「Godox G3ファームウェアアップグレードソフトウェア」をダウンロード・インストールしてから、相応するファームウェアを選択してください。
- ファームウェアをアップグレードした後、その取扱説明書は最新電子バージョンをご参照ください。

## メンテナンスと保守

- フラッシュは作動している時に異常が起こった場合、直ちに電源を切り、原因を究明してください。
- 本体を振動させないでください。本体表面のちりを掃除してください。
- 本体にわずかに熱が発生することは正常です。特別な需要はない場合、連続にトリガーしないでください。
- フラッシュのあらゆるメンテナンスは弊社の指定したオリジナル部品提供可能な修理業者より担当します。
- 保証期間は1年間です。ランプチューブなどの消耗品は保証範囲内に属しません。
- 自分勝手にフラッシュを修理した場合、フラッシュの1年間保証期間が取り消されます。メンテナンスする時、関係費用を受け取ります。
- 本製品は故障が起こったり、水に濡れられたりした場合、専門者にメンテナンスされた後、はじめて使用できます。
- 弊社は予告なしに技術を変更することがあります。